

東日本大震災震災復興シンポジウム「みやぎボイス 2018」に参加しました(2018/09/02)

テーマ：震災復興，復興まちづくり，産業復興，震災伝承，事前復興

URL：<http://www.jia-tohoku.org/blog/miyagi/entry-813.html>

9月2日(日)，せんだいメディアテーク(仙台市青葉区)の1階オープンスクエアにて，東日本大震災震災復興シンポジウム「みやぎボイス 2018」(主催：みやぎボイス連絡協議会・一般社団法人日本建築学会，後援：東北大学災害科学国際研究所ほか)が開催され，当研究所の小野田泰明教授と平野勝也准教授(情報管理・社会連携部門)がパネリストとして，増田聡教授(人間・社会対応研究部門)と佐藤翔輔准教授(情報管理・社会連携部門)がファシリテーターとして登壇しました。

「みやぎボイス」は，2013年に「地域とずっと一緒に考える復興まちづくり」，2014年に「復興住宅のこえ」，2015年「復興で橋渡しするもの」，2016年「これまでの復興と，これからの私たちの社会」，2017年「計画・制度とそこから零れ落ちるもの」，という主題で，毎年開催されてきたシンポジウムです。2018年となった今回は「次の社会の在り方につなげる試み」をサブタイトルとして，全9つのラウンドテーブルディスカッションが実施されました。いずれのテーブルでも時間いっぱい白熱した議論がなされました。みやぎボイス2018での議論の内容は，後日，報告書等で広く紹介される予定です。

「平時に活かせる復興の経験・技術」 パネラー：平野勝也ほか5名

「被災地経済と新たな産業立地・集積の可能性」 ファシリテーター：増田聡，パネラー7名

「民官連携とマチの生業づくり」 パネラー：小野田泰明ほか7名

「伝承，報道，そして事前復興」 ファシリテーター：佐藤翔輔，パネラー8名



会場の様子



ラウンドテーブルの様子

文責：佐藤翔輔(情報管理・社会連携部門)